

「80年の重み」

生徒の皆さん、保護者の皆様、そして地域の皆様、本校は2学期の期末考査が始まっています。今回は、11月14日(火)に県立芸術文化センターで挙げした『創立80周年記念式典』の様子を、生徒達の取組を中心にお伝えします。

【記念式典】

13時からの開会に多くのご来賓の皆様、樟友会や保護者の皆様が、お越しく下さいました。放送部の生徒が進行役を見事に務め、挨拶や祝辞では、生徒会長が代表として堂々と、鳴高の伝統に伝え新たに歩む決意を述べました。続いて記念植樹の紹介を、副会長が協力して伝え、緑豊かな往時をしのび、お礼の言葉を述べました。さらに生徒会役員が、80年を振り返り未来を語る…前を向き立派に発表する姿を見て、とても嬉しく頼もしく感じました。

【記念コンサート】

式典に続き、卒業生によるピアノなどの演奏とともに、吹奏楽部やストリングオーケストラ部による演奏を披露しました。生徒達にとっても、貴重な経験になったのでは、と思います。

舞台のほかでも、生徒の皆さんが受付や誘導、設営など、早朝から準備し、積極的に協力してくれたからこそ、このような大きな式典を滞りなく行うことができました。在校生の皆さんの、式典やコンサートに臨む姿勢も、場に応じ、良かったのでは、と思います。

このたびの機会を、在校生にとっても意義あるものにしてもらいたい、と思っています。本校が、地域でどのように誕生し、育まれ、受け継がれてきた学校であるのか…これも大切な学びの一つだと思います。(校長 黒河内雅典)

